
第19回栃木県ジュニア陸上競技トライアルにおける 新型コロナウイルス感染症対策 (日本陸上競技連盟 陸上競技活動再開についてのガイダンス より)

1. 感染防止対策を講じること

- (1) 3密を回避するため、無観客とし、保護者の入場はできません。
- (2) 医師／保健師／看護師のいずれかを医務室に常駐させます。
- (3) 医療用個人防護具（フェイスシールド、手袋、マスクなど）を準備します。

2. 対象者毎の配慮事項

(1) 共通事項

- ①競技役員、競技者は、大会2週間前から栃木県中体連が指定する参加者体調チェック表を記入し、大会当日、主催者に提出してください。
- ②マスク着用、手洗い・洗顔を徹底してください。
- ③3密回避行動を心掛けてください。
- ④声を出しての応援、集団での応援、動作前の発声は禁止します。

(2) 競技者

- ①運動中はマスク着用はしなくても良いが、移動中、待機中はマスクを着用してください。
- ②ウォーミングアップは個別に行ってください。
- ③競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をしてください。
- ④メインスタンド下にある更衣室の滞在は短時間とします。
- ⑤運動中につばや痰を吐くことは極力行わないでください。
- ⑥ゴミは持ち帰りとします。

(3) 競技役員

- ①競技者と接触を減らす工夫をしてください。
- ②各種機器などの共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔をしてください。

3. 競技の配慮事項

- (1) 競技中やフィニッシュ後に倒れ込んだ競技者のケアは、防護体制（マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋など）を整えたスタッフで対応します。
- (2) 競技後は手指の消毒を行った後、手洗い・洗顔を徹底するよう促します。
- (3) 記録発表はインターネットを活用した発表を行います。
- (4) 開会式、閉会式は行いません。

【フィールド競技】

- (1) 待機場所ではソーシャルディスタンスを確保してください。
- (2) 試技の前後に手指の消毒を実施し、競技中に不用意に手で顔を触らぬように注意してください。
- (3) 滑り止め（炭酸マグネシウム）は、競技者の持ち込みを可とします。

4. 施設における配慮事項

- (1) 受付では、フェイスシールドを準備し対応します。
- (2) 入退場口では、検温を実施します。また、手指の消毒を行ってください。
- (3) 横断幕、のぼりの設置は禁止とします。